

淡路ホンダ販売株式会社

- ・地域社会に対してモビリティに関わる生活上の価値を絶え間なく提供すること
- ・常に主役をお客様におき、笑顔のあふれるコミュニケーション広場を提供すること
- ・楽しさや喜びをすべての考えや行動の出発点におき感謝や感動の歴史をつくり続けること



社名：淡路ホンダ販売株式会社
住所：洲本市桑間534-1
役職：代表取締役
氏名：元地 隆之
所属：兵庫支部
同友会入会：2018年4月

あり、私自身も深く共感しています。事業承継にあたり変えるべきか迷った時期もありましたが、理念は経営者が代わるたびに書き換えるものではなく、どう解釈し実践していくかが重要だと考え、踏襲する判断をしました。理念を起点に判断や行動、育成までを一貫させ、「言っていること」と「やっていること」が一致する会社を目指しています。

■事業内容

Honda正規ディーラー、自動車パーツの販売、レンタカー、損害保険代理店

■経営理念（経営指針）の成文化について

2022年4月の事業承継を前に、私は「経営者として何を目指し、どんな会社にしていくのか」が明確になっておらず、不安を抱えていました。承継半年前、幹部から「社長になって何をしたいのか分からない」と言われ、このまま社長になると自分だけでなく社員も不安にさせてしまうと感じ、紹介いただいた経営指針書成文化セミナーに参加しました。方針を発表して終わりにするのではなく、「何を大切にし、何を判断基準に経営をするのか」を明確にして、ぶれない軸として社内で共有するため、経営指針書の成文化に取り組みました。

その中での出来事（社内の変化）

まず私自身が経営指針書成文化セミナーを受講し、指針書を作成しました。役員と内容を磨き、幹部から段階的に共有しました。方向性は受け入れられましたが、数値目標には現場とのギャップがあり、理解を得るまでに苦労しました。当初は反対もありましたが、成文化した指針を繰り返し共有し、小さな達成を積み重ねる中で数字への意識が高まり、「どうすればできるか」を考える風土が生まれました。今では共通の判断基準として機能しています。

■経営理念について

経営理念への想い

経営理念は先代が長い時間をかけて築き上げたもので

■これからの夢・抱負

社員が安心して長く働き続けられ、地域のお客様から選ばれ続ける会社であること。それが私の目指す姿です。理念と経営指針書を軸に日々の積み重ねを大切に、社員一人ひとりが誇りを持てる会社をつくっていきたくと考えています。そして、社員が定年を迎えたときに「ええ会社やったな」と振り返り、地域のお客様からも「いい社員さんばかりやな」と言ってもらえる。そんな評価が自然と集まる会社をこれからも目指していきます。

